

(4) 四季

四季折々の様々な自然に触れることができ、春は今熊山のミツバツツジ、秋には紅葉を楽しめます。地域が主体的に里山保全活動を行っており、毎日の暮らしが豊かな自然とともにあります。

4月 今熊山のミツバツツジ



標高505.7メートルの今熊山は、ふもとに金剛の滝、頂上に今熊神社を頂く閑静な山です。春の山麓には、町会などにより植栽されたミツバツツジ約1,500株が咲き誇ります。

7月 夏の里山



川口地区には、豊かな緑が残された都内有数の里山があります。上川の里では、地域住民だけでなく、地域で活動する各種団体などとの協働により、里山の保全と利活用を進めています。夏には活動団体や地域の子どもたちが植えた稲のみずみずしい緑が水田を彩ります。

11月 秋の紅葉



川口地区にある豊かな緑や、活動団体・地域の子どもたちが植えた稲も色づき、季節の変化を感じることができます。また、秋には地域全体のイベント「川口やまゆり館まつり」が開催され、地域全体が賑わいを見せています。

1月 どんど焼き



正月の門松、しめ飾り、破魔矢、だるまなどを持ち寄り焚き上げるどんど焼きが行われます。その火で焼いた餅や団子を食べると年中の無病息災が叶うと言われていました。団子は繭玉を意味し、養蚕農家が繭の出来を祈り、この地域では「まゆだま焼き」、米の団子を焼くので「米玉焼き」とも言いました。